

## 危機管理フォーラム第361回

特定非営利活動法人両全トウネサーレ

### 「依存症的窃盗症者への再社会支援事業」ミニフォーラム開催案内

実施日時 2020年11月18日 午前10時30分から  
実施場所 ホテルグランドアーク半蔵門  
東京都千代田区隼町1-1  
電話 03-3288-1641

参加対象 危機管理フォーラム会員  
新型コロナウイルス感染症対策として募集人員は50名程度

フォーラム説明者 早稲田大学文学学術院教授 藤野京子氏  
特定非営利活動法人両全トウネサーレ理事 鷲野 薫氏

内 容 更生保護法人日本更生保護協会が資金配分団体となる休眠預金  
活用事業に採択されたNPO法人両全トウネサーレの「依存症的窃  
盗症者への再社会支援事業」に関する説明及び質疑応答

#### Symptoms of Kleptomania

##### クレプトマニアとは？

DSM-5では、窃盗に至るまでの緊張の高まりとその後の満足感や安心感の強まりが、クレプトマニアの特徴としている。

**クレプトマニアの原因**▶うつ病（セロトニンとドーパミン）に関連するシステムと行動中毒（オピオイドシステム経路）を含む、主要な神経伝達物質経路には関係があるとされる。

**クレプトマニアの有病率**▶クレプトマニアはまれな疾患であり、人口の0.3～0.6%程度の有病率とされ、診断される男女比は、男性1人に対し、女性3人程度と認識されている。

**クレプトマニアの治療**▶認知行動療法の組み合わせに最もよく反応し、クレプトマニアに関連する衝動の認識と対処、および精神薬品の使用に重点を置いています。リチウム、抗てんかん薬、およびオピオイド拮抗薬は、盗癖を持つ人々が直面する盗みの衝動を制御するのに有効であることが証明されている。

**刑罰は窃盗症の再犯防止に有効ではない！！**

窃盗症者は、窃盗直前のスリルや緊張感、窃盗後の達成感や解放感等が勝っており、盗むこと自体が目的にもなっている。窃盗を他者から咎められたり、逮捕されることがあっても窃盗行為を繰り返してしまう。

#### ☆ 具体的支援方法

- 再社会化プログラム作成・提供・ファシリテーター用支援ツール提供・CBTによるスキルアップ実施  
精神保健福祉センター等への啓蒙と連携、他団体への広報
- 情報ツール相談システム（電話等相談）構築
- 自助グループへの支援活動



特定非営利活動法人 両全トウネサーレ

事務所 東京都中野区中野 4-15-9 ラビアン中野 2012

☎(03)5318-9592 📠(03)5318-9593